



議員 吉秋勢能 未来研

一般行政について

問 平成31年度の予算編成方針について伺います。

答 市長 歳入のうち、市税や各種交付金については、前年度並みを見込んでいますが、特定財源を除いた一般財源部分の歳入は、減額の見込みであり、財政調整基金の取り崩しを予定しています。第2次総合計画との整合性を図るとともに、全ての事務事業について、優先度や緊急性、費用対効果の検証・見直しを行った上で要求することを指示しました。予算編成作業については、施策予算編成により進め、経常的な経費に7%のマイナスシーリングを実施しています。

問 市長の「マニフェストに「私は挑戦します、地域再生の8項目の宣言」とありますが、それらを実現するためにはどの位の財源が必要か伺います。

答 市長 全体の事業費については現時点では不確定ですが、新規事業として、成東駅北側開発の取り組みに、9月補正で1381万4千円を計上し、成東駅北側周辺地区の調整とあり方の検討を始めています。

問 総合計画に取り入れる項目について伺います。

答 市長 総合計画の重点分野として設定している主なものは、保育環境の整備や病児・病後児保育の充実を図る幼保機能の充実、英語教育の取り組みなどを行う確かな学力の向上と生きた学力の推進、海岸を活用した観光推進等です。

問 各地区から要望されている道路改良・舗装、排水工事等の件数、及び、それに係る費用について伺います。

答 都市建設部長 未着手の要望は、道路関係で170件、水路関係で62件です。概算事業費は、道路関係で約19億円、水路関係で約26億円と見込んでいます。

問 土木費を増額して、各地区(市民)の要望に応えるべきだと思いますがどうですか。

答 市長 平成29年度当初予算において、地区要望に対する道路関連予算を大幅に増額しました。住環境対策の早期実現に向けて、最大限努力したいと思っています。

問 企業誘致に向けた工業団地等の調査について伺います。

答 市長 工業団地の新設・整備の手法として、民間のデベロッパー等の活用を主体に考えており、県、市町村、民間との役割分担のもとで、推進体制の整備が検討されています。現在は、県との意見交換や、要望を行っているところです。

問 津辺地先の交差点改良等で、県及び山武土木事務所に要望は行っているか伺います。

答 市長 白幡の交差点及び津辺交差点改良とあわせて、山武土木事務所、市内の国道、主要道、一般県道の維持修繕工事の実施について、要望書を手渡しました。

問 津辺地先の交差点改良の感触について伺います。

答 都市建設部長 津辺の交差点については、用地等の問題があり、進捗がないと聞いています。早期実現に向けて引き続き要望をしていきたいと思っています。

問 市の偉人や先人が残した文化財、サンブスギ等が、市のイメージアップのPRに十分活用されていないと思われま。文化財の保護や、担い手の確保・育成の状況について伺います。

答 教育部長 総合計画では、文化財の保護活用を基本事業の1つとしています。郷土芸能等では、次世代への伝承に苦慮しています。郷土研究等

を行う市民団体等の協力を得て、市指定文化財の調査研究、講演会等を実施し、周知を図っています。

問 成東・東金食虫植物群落は、行政と地域住民が一体となつて、維持管理、保存してきた貴重な文化財です。柵などを設置し、保全環境を整備してはどうですか。

答 教育長 指定地の明瞭な柵の設置は、保護管理の第1歩と考えています。指定地保護のための環境整備は今後も努めます。

問 サンブスギで作成された格子壁は素晴らしいものです。サンブスギと各地区の偉人を組み合わせ、この文化資源を活かした市のイメージアップにつなげるため、庁舎や、文化会館等の各施設に、サンブスギを使用した格子戸を張り、各地区から出ている文化人の肖像画を展示してはどうですか。



歴史民俗資料館にあるサンブスギの山人壁

個人質問